



きれいになった大阪湾 ～今後とも挑戦をつづけたい～

海洋冒険家
ソロセーラー・ヨットマン **堀江 謙一** ほりえ けんいち

【プロフィール】
1962年:「マーメイド号」で単独太平洋横断航海達成(世界初)
1974年: 単独無寄港で世界一周航海達成(西回り)
2005年: 再度単独無寄港で世界一周航海達成(東回り)
現在、兵庫県芦屋市に在住。

僕がヨットに携わることとなったのは、高校入学時に部活のヨット部から勧誘があり、そこで初めて出会ったことがきっかけです。入部後は練習がきつく、僕以外の一年生は退部しましたが、僕はヨットを操縦したいという一心で部活を続けていくうちに、その道に進みたいと思うようになりました。

数あるヨットの中でも、特にこだわりのあった小型ヨットで、単独太平洋横断を計画しました。

当時大型ヨットは値が張ったという理由もありますが、世界一大きい海を、世界一小さなヨットで、しかも一人で航海したいという、僕にとってはこれ以上のハードル・目標はなかった、というのが太平洋横断という航海をすることとなった理由です。

そして、23歳のときに西宮の岸壁を出航し、94日後、サンフランシスコに到着することができました。

ヨットでの航海はスポーツの一種と考えています。スポーツは目標を達成するためにいくつものハードルを越えていく努力が必要です。

同様に航海も目標をもって進んで行きます。たとえその過程で困難や苦しみや押し寄せてきたとしても、目標に少しずつでも近づくことで喜びに変わります。僕は常に目標に向かっていくという充実感を維持できたことが、単独で長期間の航海にも耐えられた理由だと思っています。

大阪湾フェニックスセンターもリサイクルの啓発をしていますが、僕もリサイクル材(アルミ缶、生ビール樽)を活用したサントリー・マーメイド号で航海しており、そういったことで環境部門の表彰もされました。

今、世の中は循環型社会を作ることが大切となっています。皆さんが毎日、ごみを分別するように、僕も一社会人として、あたりまえのモラルに従い、リサイクル材を活用しており、そのことが結果的に啓発につながればいいのではと考えています。

僕は、西宮甲英高等学院で校長もしています。校長として今の子供達に伝えたいことは、色々なことに「挑戦」してほしいということです。人類の歴史はいわば「探検」あるいは「冒険」の歴史と言えるでしょう。自分もまだまだ「挑戦」中ですが、無限の可能性をもつ子供達だからこそできる「挑戦」をしてもらいたいし、この「挑戦」を色々な角度から教え、支えていきたいと思っています。

75歳の現在もヨットを続けていますが、今後の目標は、これまでも行ってきましたが、自然エネルギー(風力・太陽光・波力)を利用した航海を100歳になるまでやることです。いずれにせよ僕と海との関わりは今後とも続きます。

海洋環境に関しては、昔(1970年代)と比べると、今の大阪湾は確実にきれいになっています。先日、訪れた淡路島も海がとてもきれいでした。

一人一人が環境問題に対して関心を持ち、大阪湾の海を守るため、あたりまえのモラル・マナーを向上させてきた結果だと思えます。あたりまえのことを皆がやれば環境は守られる、こうしたことを積み上げていくことが重要だと考えています。



編集後記

冒頭で紹介いたしました「フェニックス講座」において、生徒さんが我々に振る舞ってくれた自家製カレーは、ジャガイモを中心にとっても自然な味わいがあり、印象的でした。私事ですが、中学校の校舎に入るのは何十年かぶりであり、講座中、環境問題に熱心に取り組む生徒さんの姿勢に感服しながら、他方で30年前の中学時代にタイムスリップした自分を重ねていました。

さらに、その20年前には堀江謙一さんが、太平洋を横断しました。そこへのタイムスリップまでは無理でしたが、今回の出会いや取材は、過去に想いを馳せる契機となりました。

50年前、30年前、現在と進んできましたが、大量消費や公害などの時代を経て循環型社会になった今日。こうした社会生活を支えるのが廃棄物を適正に最終処分する大阪湾フェニックス事業です。これからも大阪湾圏域の住民の方々や関係者の皆様方に貢献できるように処分場の長期的かつ安定的な運営の確保に努めてまいります。

ご意見ご感想がございましたら、右記のE-mailアドレスまでお寄せください。
(編集スタッフ一同)

i land fill Vol. 20

発行:  **大阪湾広域臨海環境整備センター**
「フェニックスセンター」 

<http://www.osakawan-center.or.jp>
〒530-0005
大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル9階
TEL 06-6204-1721(代)
FAX 06-6204-1728
E-mail phoenix@osakawan-center.or.jp
i Land Fill は当センターホームページにも掲載しております。

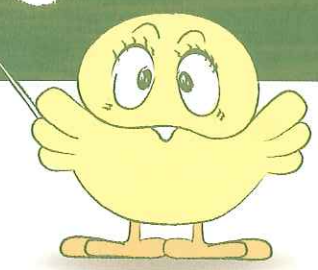


みなさんと未来を考えるフェニックスセンター★NEWS

i land fill

Vol.20

大阪湾に
今ある4つの処分場は
いつ頃一杯になるの?



特集 フェニックス講座について

大阪湾フェニックスセンターでは、事業の内容・ごみの行方・環境調査・3R活動の重要性などについて、大阪湾圏域の住民の皆様などを対象にスライド等で解説する「フェニックス講座」を実施しています。

平成25年7月12日、尼崎市立成良中学校1年生の生徒さんを対象に、「尼崎の海と陸をつなぐ取り組み」と題してフェニックス講座を実施し、延べ130名の生徒さんが参加しました。

これは、当校の環境・総合学習の1限目から3限目にわたり、1学年を3グループに分け、尼崎の海の水質改善として中学校の生徒さんが植え付けを行ったワカメを肥料化して当校屋上で育てたジャガイモの収穫を行う「収穫班」、そのジャガイモを使用してカレーの調理を行う「調理班」、そして当センターの講座を受講する「受講班」の3班順繰りの入れ替わり制による総合環境学習の一コマを担わせていただいたものです。

冒頭に当センター代表者からのあいさつ、スタッフの紹介を行った後、当センターの「大阪湾フェニックス計画」についてDVD視聴による学習を行いました。

次に、DVDの内容を踏まえた当センター司会による、センター事業の紹介や今後の事業展望についてスライドショーで解説を行いました。ここでは楽しく学習できるよう、要所にクイズを組み入れたところ、元気に手をあげて答える生徒さんが印象的でした。

受講後、カレーが運ばれ、調理に協力された保護者の皆様との会食となりました。カレーには収穫した新鮮なジャガイモがふんだんに使われ、自然の豊かさでも同時に味わうことができました。調理していただいた皆様、ありがとうございました。

数日後、生徒の皆さんからたくさんの感想が寄せられました。主には「フェニックスの埋立処分場が平成39年で満杯になるのには驚いた。埋立処分場を長持ちさせるために、3R活動をがんばる」というものでしたが、当センターが基地や埋立処分場の周辺環境の保全・創造にも力を入れていることに対して環境問題を意識した意見も多くあり、生徒の皆さんにとっても非常に勉強になったのではないかと思います。

家庭で発生したごみが最終的にどうなっているのか、どんな課題があるのか、勉強の手助けになったのではないかと思います。フェニックス講座を続けていこうと改めて感じた勉強会でありました。



現在の計画では、平成39年度頃には満杯になる予定です。そうすると、新しい埋立処分場が必要となります。処分場を作るにはすくなくさんのお金が必要です。候補地の決定、建設には10年以上かかるなど、新しい処分場を作ることは、費用や期間を考えると大変なことです。そのためにも、3R活動などごみ減量化の取組により、今ある処分場をできるだけ長持ちさせることが大事なのです。

生徒の皆さんの感想文から

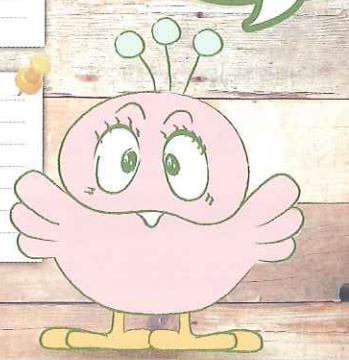
リサイクルしか知らなかったけれども、リデュース・リユースが覚えられて良かった

ごみが燃やされて灰として残り、埋立処分場に運ばれるまでの順序がよくわかった

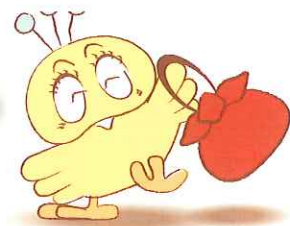
フェニックス計画をもっと知ってもらえるようにした方がいい

エコ護岸についてもう少し詳しく教えてほしい

みんなで
できることから
取り組もう!



..... 第6回『マイバッグ』..... ふろしきを活用してみよう♪



最近、買物をする時はマイバッグを持参してレジ袋をもらわないようにしている人も増えてきました。3R活動の効果もありますが、レジ袋が有料になってきている事もあるからではないでしょうか。

現在、日本国内でのレジ袋の消費は年間約300億枚(1人あたり約300枚/年間)となっています。また、レジ袋はほとんどが高密度ポリエチレン製です。

その為、レジ袋1枚には石油が20ml使われており、全体では年間約300億枚×20ml=約60万kl(2ℓペットボトルおよそ3億本分)の石油が使われている事になります。また、このレジ袋は、焼却す

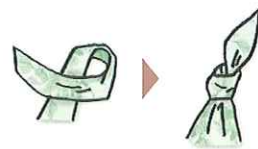
ると地球温暖化の原因となるCO₂も排出されますので、地球環境の為にもマイバッグを持つ事が大切になってきます。

今回、紹介するマイバッグは、1枚の布からできる「ふろしきバッグ」です。包むものの形や大きさに合わせて自由な発想で包み方を工夫できます。結び目を解けば、すぐに元通りになり、折りたためば、かさ張らずに持ち帰ることもできるので手軽で便利。オシャレで荷物にもならず、何度でも繰り返し使える優れものです。サイズは90～120cm幅の大判サイズで買物に使うなら生地は綿素材がオススメです。

基本の結び方

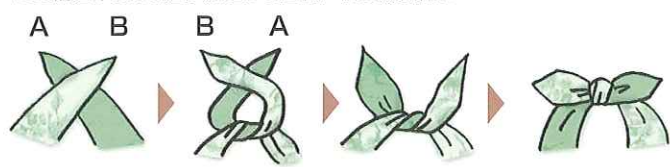
【ひとつ結び】

- ①ふろしきの角で輪を作り輪の中に布の先を通す
- ②先端を上、結び目を下に引っ張り結び



【ま結び】

- ・A(濃い色)と、B(薄い色)を下記の図のように重ね、AとBをからませる
- ・Bで輪を作りAも通す。AとBを左右に引っ張り結び



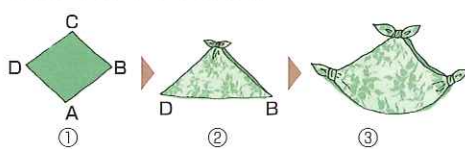
風呂敷バッグ用の「持ち手リング」を使えば



風呂敷を通すだけでバッグが完成

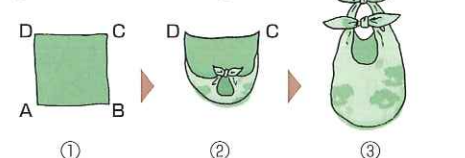
参考例

【インスタントバッグ】



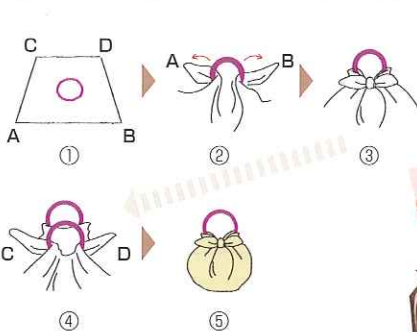
- ①AとCを「ま結び」
- ②BとDをそれぞれ「ひとつ結び」
- ③完成

【お買いもの包み】



- ①AとBを「ま結び」
結び目は少し空ける
- ②CとDも「ま結び」
- ③完成

【リングを使った風呂敷バッグの作り方】



環境イベントで会いましょう!!



ひょうごエコフェスティバル2012
(スライドショーの模様)

当センターは、近畿2府4県168市町村から排出される廃棄物を安定的かつ安全に処理することにより、市民生活の環境保全に大きな役割を果たしています。そこで、府県や市が開催する環境イベントと連携し、スライドショーやDVDの放映により、センター事業や3R活動の必要性の紹介を行っています。そのひとつで昨年11月10日～11日に姫路市大手前公園で開催された「ひょうごエコフェスティバル2012」では、『ごみ』のゆくえ」と題したスライドショーにたくさんの方々のご参加をいただき、フェニックス事業と3R活動の必要性へのご理解を深めていただくことができました。

今年も各地で開催される環境イベントと連携していきますので、是非最寄りのイベントにご参加いただけますよう、お願いいたします。オリジナルグッズのプレゼントを用意してお待ちしています。

イベント名	開催日	開催場所	主催者
グリーンフェスタこうべ2013	10/12(土)	神戸総合運動公園	神戸市他
ECOフェスティバル「ガレージセール」IN OSAKA TOWN	10/12(土)～3(日)	大阪城公園 太陽の広場	大阪市
びわ湖環境ビジネスメッセ2013	10/24(木)～26(土)	長浜ドーム	滋賀県他
リサイクル・フェア	10/26(土)	スワンホール	伊丹市他
ひょうごエコフェスティバル2013	11/2(土)～3(日)	尼崎21世紀の森	兵庫県他
京都環境フェスティバル2013	12/14(土)～15(日)	京都パルスプラザ	京都府他

※各環境イベントの詳細は、各主催者にお問い合わせください。

「小型家電リサイクル制度」～平成25年4月から始まりました。～

家電リサイクル制度

目的 資源の有効利用と環境汚染防止のため

■特定家庭用機器再商品化法

(家電リサイクル法:平成13年4月1日から)

テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機等
いわゆる「家電4品目」

ユーザーがリサイクル料金を負担。
小売業者等が引き取り。
指定法人がリサイクル

■使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律

(小型家電リサイクル法:平成25年4月1日から)

携帯電話・パソコン・デジカメ
電子レンジ・掃除機・炊飯ジャー等
28分類

ユーザーはリサイクル料金の負担なし。
自治体等が回収。
認定業者がリサイクル

あなたは、違法な不用品回収業者を利用していますか?

行政機関

VS

不用品回収業者
無料回収・悪質引取

許可なし、法外な料金請求

怪しい業者や悪質な業者を発見したら情報をお寄せ下さい。

**拳句の果てに
不法投棄
火災発生**

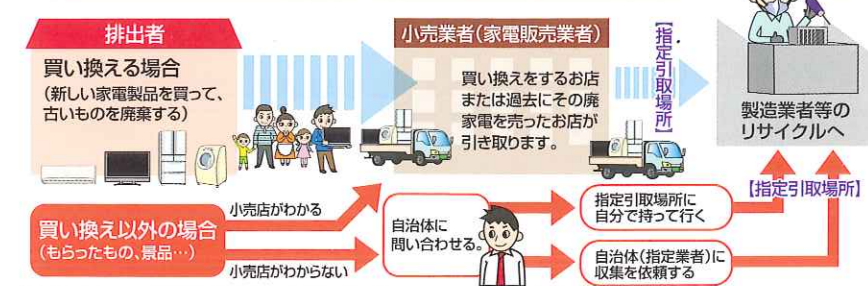
悪質リサイクル業者
売却・引渡し

野ざらし、いい加減な処理

適正な処理が確認できません。

じゃあ、どうすればいいの?

テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機等
いわゆる「家電4品目」は



※小売店が、自分のところで販売したもの以外を引き取っている場合もあります。*指定回収場所に自分で持って行く場合は、通常、郵便局に備付けられている家電リサイクル券を使用し、再商品化等料金を支払って下さい。

携帯電話・パソコン・デジカメ・電子レンジ
掃除機・炊飯ジャー等28分類は

小型家電適正リサイクルのマーク



このマークの付いた回収ボックスなどを
目印に小型家電の分別回収にご協力
ください!

※このマークは、国の認定を受けたりリサイクル事業者又は、小型家電リサイクルに取り組む市町村しか使用することはできません。



自治体が回収します